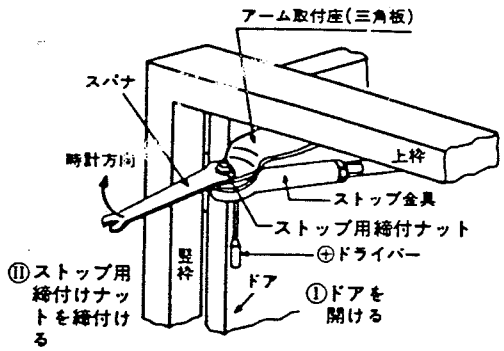
YO.:-3-7

新日軽ドア

カスタムインペリア

KUD型

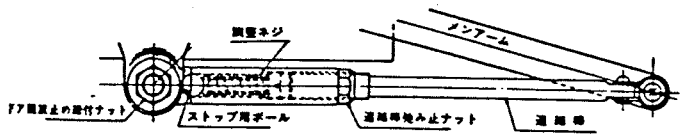
ご愛用のしおり



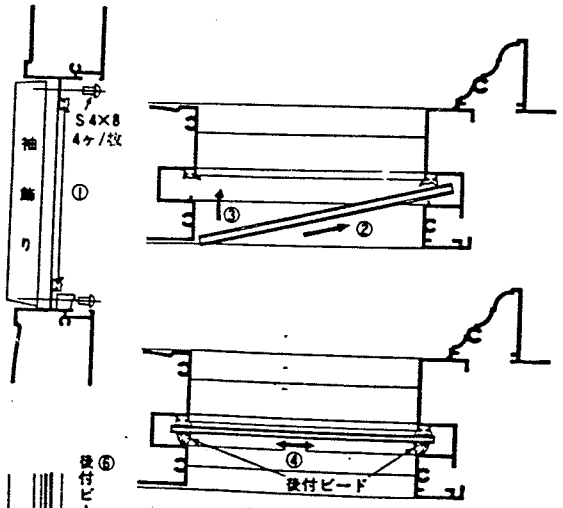
3）保持力の調整

保持力については、工場出荷時に調整済みですが、万一調子が悪い場合には、下記の要領で行ってください。

①メンアームと連結棒をはずし連結棒弛み止めナットを弛めてはずし、⊖ドライバーで調整ネジをねじこむと保持力が強くなります。



Ⅵ〕袖部のガラスの入れ方



① 袖飾りをビス(S4×8)で取付けてください。

②～⑤ 室内側よりガラスを入れ、押縁を嵌込んでください。

⑥ 室内側より、ビードを継ぎ目が上辺になるよう嵌込んでください。

※ ガラス5～6.8㎜用後付ビード、グレチャン別途用意してあります。

II〕木製ドアの補修方法

1）塗膜の侵された部分は早めにポリウレタン樹脂塗料（床用ウレタンワニス、家庭用ウレタンワニス等）で補修してください。尚、ワックスがけがしてありますと、塗料をはじきますから、補修部分を揮発油できれいに拭き取り、サンドペーパー（280～320番）でサンディングしてから塗布してください。

2）日光に当りますと、日が経つにつれて少し濃い目に変ってきます。これは品質の劣下ではなく、米松材の持つ油性分によって起るもので、米松の特長の一つです。従って長く使用するにつれて木目が強調され自然木の美しさが一層増してきます。

III〕その他のドアの手入方法

1）ドアの表面についたホコリは柔らかい布で軽く拭きとってください。2）指紋や油などは、市販の中性洗剤をうすめ、柔らかい布につけて軽く拭きとってください。3）洗剤を使用した後は、充分に水をつけた布で拭き取り、乾いた布で水分を完全に拭き取ってください。4）表面の皮膜はちみつで丈夫ですが、非常に薄いものですから、スコッチブライト（ナイロンたわし）、金属ウールたわし、みがき砂の入ったクレンザー等は使用しないでください。5）シンナー類は塗装を痛めますので使用しないでください。

IV〕錠の手入方法

1）雨の降った後や、強い風の後には錠ハンドルに有害な水分やホコリが付着していますので、乾いた布等でカラ拭きしてください。

2）本締錠の鍵穴に雨水が入りますと鍵がかたくなる事があります。このような時は炭素の粉末（鉛筆芯の粉等）を少量鍵穴へ入れてください。

※　鍵穴への油等の注入は絶対にさけてください。

新日軽ドア

カスタムインペリア 取扱説明書

I〕木製ドアの手入方法

車や洗濯機のように鋼板に塗装をした製品でも、手入が悪いと1～2年で塗装面が侵されることがあります。
新日軽ドアはこれらにくらべて、それほど強くない木材を使用し、ポリウレタン樹脂塗装をしていますので、美しさを永く保つためにも、手入れをおこたらないようにすることが必要です。

1）雨の降った後や強い風の後には、ドアに有害な水分や、ほこりが付着していますので、週2～3回程度、乾いた布やモップ等でカラ拭きしてください。（水拭きはドアをいためる原因となりますので絶対にしないでください。）

2）木製用ワックスを使いますと、水分をはじき長持ちすると共に光沢が一層よくなり、美しさが増します。
ワックスがけをする前に乾いた布かモップ等でドアのホコリを拭きとってください。

3）布又はモップ等でワックスをムラなく塗って別の乾いたきれいな布で磨き、仕上りましたらドアの屋外側の腰下部分や木口面、雨風のかかりやすい部分にもう一度ワックスがけし、磨いてください。

Ⅶ〕ガラス寸法

◆単体、ポスト無しタイプ

枠名称		ランマ付単体3R	ランマ付方立通し袖板段型4.5R	ランマ付方立通し袖板段型6R入隅	ランマ付方立通し袖板段型6R	ランマ付無目通し親子型4.5R	ランマ付無目通し親子型6R入隅	ランマ付無目通し親子型6R
W × H		894×2270	1320×2270	1650×2270	1710×2270	1320×2270	1650×2270	1710×2270
ガラス寸法	ランマ	806×271×1	806× 271×1	806× 271×1	806× 271×1	1232×261×1	1562×261×1	1624×261×1
	袖上部	—	392×1283×1	344×1283×2	374×1283×2	338×842×1	317×842×2	347×842×2
	袖下部	—	392× 722×1	344× 722×2	374× 722×2	338×722×1	317×722×2	347×722×2

◆ポスト付タイプ

枠名称		ランマ付方立通し袖板段型4.5R	ランマ付方立通し袖板段型6R入隅	ランマ付方立通し袖板段型6R	ランマ付無目通し親子型4.5R	ランマ付無目通し親子型6R入隅	ランマ付無目通し親子型6R
W × H		1320×2270	1650×2270	1696×2270	1320×2270	1650×2270	1696×2270
ガラス寸法	ランマ	806× 271×1	806× 271×1	806× 271×1	1232×261×1	1562×261×1	1610×261×1
	袖上部	392×1283×1	344×1283×2	367×1283×2	338×842×1	317×842×2	340×842×2
	袖下部	392× 722×1	344× 722×2	367× 722×2	338×722×1	317×722×2	340×722×2

◆Jタイプドア本体（透し鋳物框ドア）

(384㎜× 146㎜)

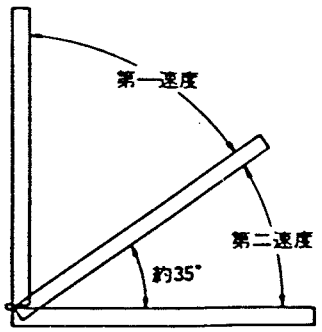
新日軽住宅建材株式会社

(N)

Ⅴ〕ドアチェックP-192の取扱説明 (NDC-16)

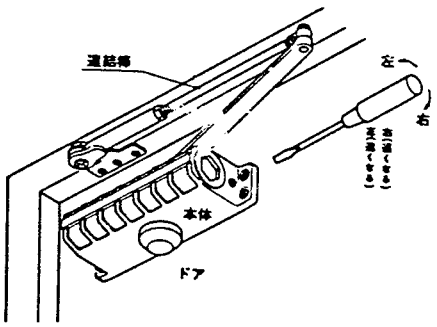
1）スピード調整

閉鎖速度は、下図のように2段階になっており約35°でチェックしてスピードが1段階遅くなるようになっております。



第一速度は工場出荷時に調整されておりますので、取付後の調整の必要はありません。

第二速度が適度なスピードでない場合は⊖のドライバーにて閉りの速い場合は右へ、遅い場合は左へ調整弁を廻して扉の閉まり速度を調整してください。



2）扉のストップ角度調整

●連結棒の長さの調整

ネジ止めする際、連結棒をドアと平行になるよう（ドア全開状態の時）に調整してください。

●扉のストップ角度の調整方法

右上図のように行ってください。

①ドアをストップさせたい角度まで開く。

②取付座上の締付ナットを付属スパナ（又はモンキー等）で固く締付けてください。（時計方向に締付ける）

（ストップ用ナットを完全に締付けないとストップ不良の原因となります。）